

事業所名

多機能型子ども支援センターたんぽぽ下江津

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和8

年

3

月

1

日

法人（事業所）理念		子どもたち一人ひとりの個性を大切にしながらご家族と一緒に子どもたちの成長を見守っていき個性を伸ばし共に考え、育み、未来へつなげる療育を目指す											
支援方針		専門家の意見や経験に基づくだけでなく、家族に寄り添い一緒に考える療育が大切であると考えてます。共に生活していく中での家族の思いを大切に、限られた時間の中でより有意義な療育を提供できるようにご家族の要望をできるだけ取り入れていく											
営業時間		平日 休校日	9 8	時	0 30	分から	18 17	時	0 30	分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	就学に向けた基本的な生活スキルの獲得…微細運動を通し指先や手首の力加減・操作力を学び箸・鉛筆・身支度（更衣の着脱）・机上活動・トイレの自立）の獲得。 交通ルールを学び実際にランドセルや傘を持って登校の疑似体験。場所を構造化し身の回りの片づけや整理整頓の獲得。 絵カードで1日のスケジュールを提示し時間を意識しながら行動。											
	運動・感覚	外遊びや集団活動・個々の課題によって様々な感覚を刺激する（触覚・視覚・聴覚・固有感覚・前庭覚等） 環境の構造化で聴覚過敏等の配慮											
	認知・行動	個人スケジュールで自己選択・意思決定支援につなげ見通しをもって自主的に行動できる 絵カードやタイマー・音楽を使いスケジュールの終始を見通し。 机上での学習支援（線・数字・数唱・ひらがな）											
	言語 コミュニケーション	言語だけでなく表現や絵カードなど個々にあった方法で伝える力を学び意思疎通につながる非言語コミュニケーション支援 発音訓練や文章構成などSSTで伝える力・聞く力・読み解く力を学び人とのやりとりをスムーズにするスキルの向上 場面時の伝え方をプロンプトで学びながら支援											
	人間関係 社会性	集団での活動や遊びでルールを理解し社会性のスキルの獲得 具体的な生活場面に応じたコミュニケーション技術や課題対処法を学び人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように一緒に考えます。											
家族支援		家庭での困りごとに対する相談援助 延長サービス 年2回のモニタリング・面談等				移行支援		園・関係機関連携					
地域支援・地域連携		公園や公共施設での交流				職員の質の向上		合同研修会 各種研修参加 各種委員会設置 毎日の支援ミーティング					
主な行事等		季節行事（進級おめでとう会 花見 やまめつかみ 夏祭り 水遊び 放課後等デイサービス運動会 保護者交流会 ミカン狩り クリスマス会 初詣 お別れ会等） 月1…避難・防災・防犯訓練											